

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

| 1-1 建物概要 |                         | 1-2 外観 |                 |
|----------|-------------------------|--------|-----------------|
| 建物名称     | 京都薬品工業株式会社 本社第2工場棟建設工事  | 階数     | 地上5F            |
| 建設地      | 京都市中京区西ノ京月輪町38他         | 構造     | S造              |
| 用途地域     | 工業地域, 準防火地域             | 平均居住人員 | 20 人            |
| 地域区分     | 6地域                     | 年間使用時間 | 1,950 時間/年(想定値) |
| 建物用途     | 工場,                     | 評価の段階  | 実施設計段階評価        |
| 竣工年      | 2020年12月 0.0            | 評価の実施日 | 2019年11月28日     |
| 敷地面積     | 6,570.62 m <sup>2</sup> | 作成者    | 松浦慎治            |
| 建築面積     | 742.29 m <sup>2</sup>   | 確認日    | 2019年11月29日     |
| 延床面積     | 2,716.73 m <sup>2</sup> | 確認者    | 松浦慎治            |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>温暖化影響チャート

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 97%  
③上記+②以外の 87%  
④上記+ 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

|       |     |
|-------|-----|
| 音環境   | 2.6 |
| 温熱環境  | 3.3 |
| 光・視環境 | 2.0 |
| 空気質環境 | 3.7 |

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

|     |     |
|-----|-----|
| 機能性 | 2.5 |
| 耐用性 | 2.8 |
| 対応性 | 3.8 |

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.9

|      |     |
|------|-----|
| 生物環境 | 1.0 |
| まちなみ | 3.0 |
| 地域性・ | 1.5 |

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.3

|       |      |
|-------|------|
| 建物外皮の | N.A. |
| 自然エネ  | 3.0  |
| 設備システ | 2.3  |
| 効率的   | 2.0  |

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

|        |     |
|--------|-----|
| 水資源    | 3.4 |
| 非再生材料の | 2.9 |
| 汚染物質   | 3.6 |

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.7

|       |     |
|-------|-----|
| 地球温暖化 | 3.5 |
| 地域環境  | 2.3 |
| 周辺環境  | 2.4 |

### 3 設計上の配慮事項

| 総合   | その他                                    |
|--|--|
| 周囲への環境・騒音・振動に配慮した。<br>建物内部に関しては、メンテナンス性を重視した。      | なし                                     |
| <b>Q1 室内環境</b><br>居室の天井を高くし、作業環境に配慮した。             | <b>Q3 室外環境(敷地内)</b><br>建物周辺地域の景観に配慮した。 |
| <b>LR1 エネルギー</b><br>太陽光パネルを設置した。                   | <b>LR3 敷地外環境</b><br>周囲への騒音・振動に配慮した。    |
| <b>Q2 サービス性能</b><br>メンテナンス性を重視した。                  |  |
| <b>LR2 資源・マテリアル</b><br>間仕切り壁・天井をパネル化し、組立・解体を容易にした。 |  |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される